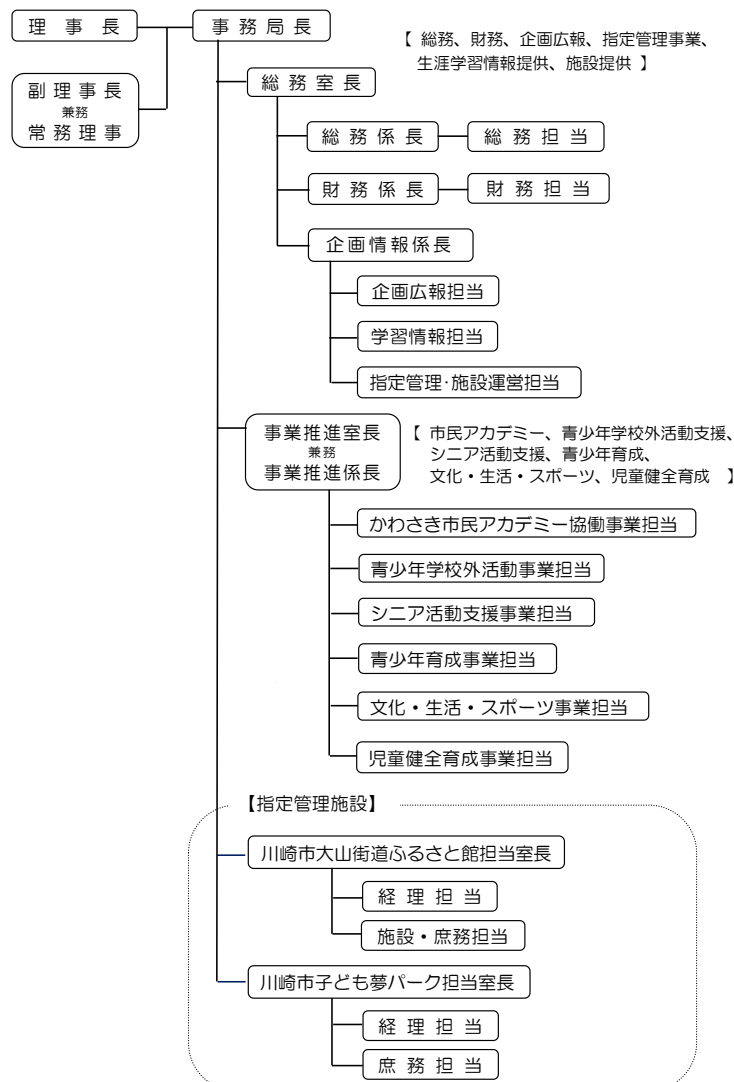


組織図 (平成30年度)



運営する指定管理施設

■川崎市大山街道ふるさと館

〒213-0001
川崎市高津区溝口 3-13-3
044-813-4705
JR南武線「武蔵溝ノ口」徒歩7分
東急田園都市線/大井町線
「溝の口」徒歩7分
東急田園都市線「高津」徒歩5分
<http://furusatokan.web5.jp>



■川崎市子ども夢パーク

〒213-0033
川崎市高津区下作延 5-30-1
044-811-2001
JR南武線「津田山」徒歩7分
<http://www.yumepark.net>



公益財団法人
川崎市生涯学習財団

〒211-0064
川崎市中原区今井南町 28-41
川崎市生涯学習プラザ内
TEL 044-733-5560 (代)
FAX 044-739-0085
ホームページ <http://www.kpal.or.jp>
E-mail: info-plaza@kpal.or.jp
開館時間 午前9時~午後9時
休館日 年末・年始、
施設保守・点検日



生涯学習プラザ

予約しやすく、使い易い施設として、学習会やミーティング、自治会・管理組合の総会、軽いスポーツ、企業の研修会や展示会場としてご利用いただいています。

【徒歩アクセス】

- ・JR南武線 「武蔵小杉駅」西口 12分
- ・JR横須賀線 「武蔵小杉駅」新南口 15分
- ・東急東横線 「武蔵小杉駅」南口 10分
- ・東急東横線 「元住吉駅」西口 10分

※駐車場の収容台数に限りがあります。
公共交通機関のご利用にご協力ください。

(2018年6月作成)



川崎市生涯学習財団



2018(平成30)年度

設立 1990年5月22日 設立者 川崎市
基本財産 200,000千円
30年度予算額 304,354千円 29年度予算額 303,008千円
役員 [理事7名(内常勤2名)・監事2名・評議員7名] 職員数 30名
沿革

- 1987(S62)年 教育委員会社会教育部に(仮称)川崎市生涯教育振興事業団設立準備事務検討委員会が設置される
- 1988(S63)年 名称を(仮称)川崎市生涯学習振興事業団に改める
- 1990(H 2)年 神奈川県教育委員会から設立許可を受け(H2.5.22)、(財)川崎市生涯学習事業団の事業を開始する
生涯学習情報誌「Stage Up」を創刊する
- 1991(H 3)年 新百合2ビル内に多目的ホール及び会議室を設置、本部事務所も同ビル内におく。
- 1992(H 4)年 青少年地域間交流事業<サマーキャンプ>事業始める
- 1993(H 5)年 川崎市体育館・幸スポーツセンター・石川記念武道館・麻生スポーツセンター・青少年の家・八ヶ岳少年自然の家・黒川青少年野外活動センター・青少年創作センターの管理運営を受託する
かわさき市民アカデミーを発足し、開講する
- 1995(H 7)年 陶芸教室を青少年創作センターで開設する
- 1998(H10)年 神奈川県労働福祉会館の移譲を受け「川崎市生涯学習プラザ」を開設。本部事務所も同プラザ内に移転する
- 2005(H17)年 (財)川崎市生涯学習振興事業団と(財)川崎市博物館振興財団の統合によって(財)川崎市生涯学習財団が発足し、市民ミュージアム・日本民家園・青少年科学館・岡本太郎美術館の管理運営を受託する
- 2006(H18)年 指定管理者制度導入により、青少年の家・子ども夢パーク・宮前スポーツセンター・麻生スポーツセンター・大山街道ふるさと館の指定管理者となる
- 2007(H19)年 NPO 法人かわさき市民アカデミーが設立され、アカデミー事業の一部を委託する
- 2009(H21)年 川崎市有馬・野川生涯学習支援施設の指定管理者となる
- 2011(H23)年 かわさき市民アカデミー事業のすべての講座とワークショップがNPO法人かわさき市民アカデミーによる運営に移行し、財団は協働して事業を推進する
- 2012(H24)年 神奈川県知事から公益財団法人の認定を受け、公益財団法人川崎市生涯学習財団の移行登記を行う(H24.4.1)
生涯学習プラザ施設利用のメールでの申し込みを開始する
☆キラリ文化教室、ランチタイムロビーコンサートを始める
- 2013(H25)年 指定管理施設の川崎市子ども夢パーク10周年記念フェスタが開催される
かわさき市民アカデミー開学20周年フェスタが開催される
- 2014(H26)年 地域の寺子屋事業モデル実施「寺子屋ひよし」に参画する
- 2015(H27)年 中原区寺子屋ネットワーク設置に参画する
「寺子屋すみよし」が開設され、運営を支援する
講座イベント情報簡易検索システムを導入する
住居表示の実施により今井南町 28番 41号に変更になる
- 2016(H28)年 講座イベント情報検索システムをリニューアルし、運用を開始する
- 2017(H29)年 施設予約システムをリニューアルし、運用を開始する。
川崎市から「生涯学習情報提供事業」の委託を受け、財団の生涯学習情報システムで情報提供を継続拡大する
- 2018(H30)年 プラザ内で「かわさきWi-Fi」の運用が始まる
空調設備を改修し運用を始める

(公財)川崎市生涯学習財団は、川崎市における豊かな生涯学習社会の実現を図るため、教育、学術及び文化に関する各種の事業を推進するとともに、市民の皆さんに自主的な活動や交流の場を提供し、活力に満ちた市民自治社会の構築に寄与することを目的としています。

市民が生涯学習活動に参画する機会を得ることは、一人ひとりが幸せな日々と豊かな人生を築き上げ、人生の目的を達成する上でとても大切なことです。また、生涯学習を通じて市民相互のコミュニケーションや連携が図られ、地域における様々な活動へとつながっていきます。

(公財)川崎市生涯学習財団は、市民のみなさんのライフステージに応じた幅広い学習ニーズと公益を優先して、収益を求めることなく、公共性と公平性を最優先にした生涯学習事業を推進することによって、豊かな生涯学習社会の実現と市民の参加と協働による市民主体のまちづくりに貢献してまいります。